

新型コロナウイルス感染症に対応した

新しい学校生活様式を 踏まえた取組について

令和2年12月21日開催 第41回津市総合教育会議

1 少人数学級編制に向けた取組

令和2年10月27日 三重県知事への要望

ウイズコロナ社会を前提とした新しい生活様式に対応していくための対策を継続して進めるため、補正予算及び来年度予算への反映に向け、県から国に働きかけていただくよう市長から知事へ4項目について要望

要望項目 : 新しい時代の学びの環境における少人数学級編制の推進

学力向上・定着を目的として進めてきた少人数教育は、学校における3密の解消という視点からも推進すべき

➡ **義務教育標準法を改正し、学級編制基準の引き下げが着実に進むよう国への働きかけを要望**

課題

学級編制基準が引き下げられた場合の学級増に伴う**教員の確保**や**施設整備**

取組の方向性

- 関係機関と協力し、国・県に対して**教育予算の拡充を要望**
- 学級編制基準が引き下げられた場合の必要学級数や空き教室等の調査を行い、必要に応じて**施設整備を検討**
- 新規採用教員数の**採用拡大**を三重県へ求めるとともに、大学等と連携し、**講師を確保**



2 教育環境の整備

学校施設トイレ洋式化改修事業

9月補正 予算額 1億1,529万円

災害時の避難所利用を踏まえ、小中学校の屋内運動場・校舎のトイレをより感染リスクの低い洋式便器へ改修

屋内運動場	原則 和式を男女各1基残して洋式化
児童生徒用	原則 和式を各階男女各1基残して洋式化
職員用	原則 全てを洋式化

◆小学校31校133基、中学校13校56基
計44校189基を改修

◆整備後の校舎棟の児童生徒用の洋式便器は
児童生徒数「15人当たり1基」に

幼稚園空調設備整備事業

9月補正 予算額 999万円

エアコンのある遊戯室で複数学年の保育を実施していた幼稚園の保育室へエアコンを整備

保健室空調設備整備事業

12月補正 予算額 2,986万円

普通教室等に先駆けて設置した保健室のエアコンを必要に応じて改修・更新

◆幼稚園10園
計10保育室へ整備

◆小学校29校・中学校10校
計39校の保健室へ整備

- 児童生徒等の健康確保に向けた取組に一層留意し、随時対応を検討、迅速かつ的確に対処
- 国において来年度以降 新型コロナウイルス感染症対策に係る予算措置が講じられた場合、必要に応じて関係部局と連携し、衛生環境の改善をさらに推進

3 修学旅行の実施

修学旅行とは

- 平素と異なる生活環境にあつて見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積むことができるような活動を行う特別活動の一つ
- 学校生活における諸活動の中でも児童生徒にとって最も印象として残り得る極めて価値のある教育的活動

例年

小学校（1泊2日）

◆ 京都・奈良・大阪方面等

中学校（2泊3日）

◆ 広島・四国方面

東京・千葉（東京DL等）・横浜方面

広島・神戸・大阪（USJ等）方面等

令和2年度

全ての学校が1泊2日又は2泊3日で実施を計画

◆ 小学校は宿泊地を県内に変更

◆ 中学校は行き先を県内又は地域の感染レベルが1の地域へ変更

小学校50校、中学校20校が実施済（12月21日現在）

◆ 小学校 伊勢志摩・東紀州方面 伊賀・奈良方面

◆ 中学校 中国・四国方面 山梨・富士方面 伊勢志摩・東紀州方面

修学旅行支援事業

9月補正 予算額 1,000万円

修学旅行の日程や行き先及び宿泊先の変更等に伴う追加費用について保護者負担とならないよう各学校に支援

執行予定

小学校 19校

中学校 8校

来年度に向けての課題

- 新型コロナウイルス感染症の影響も想定し、時期・行き先を検討
- キャンセル等への規定が変更になる可能性有（旅行会社と相談しながら次年度以降の準備）



4 GIGAスクール構想の実現に向けた取組①

目標

コンピュータや情報通信ネットワークなどを活用できる環境を整備し、情報活用能力を言語能力、問題発見・解決能力等と同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置づけ、多様な津市の子どもたち一人一人に応じた個別最適化学習を実現させ、新たな時代を担う人材を育成する



ネットワーク整備

高速ネットワーク環境(校内LAN)の整備・
一人一台端末を収納する電源キャビネットの設置

繰越明許 予算額 5億9,855万千円

- 合計契約額：3億9,481万円
- 3分の1以上の学校で12月末までに整備完了
- 1月末までに整備完了予定

※大規模改修工事実施校等の一部の学校を除く

一人一台端末の購入

市立小・中・義務教育学校のすべての児童生徒に
一人一台端末の整備

6月補正 予算額 10億9,519万円

9月補正 ▲1億3,247万円
(入札実績による減額)

- 8月17日に一般競争入札を実施し業者決定
合計契約額：9億6,272万円
- 小学校(iPad) 14,493台
中学校(Windows) 6,734台
- ネットワーク整備完了校から順次納品予定
年度内に全ての学校への納品完了予定

4 GIGAスクール構想の実現に向けた取組②

大型テレビの購入

教員の研修及び教員と児童生徒の
双方向型の授業展開を可能とするため
大型テレビを購入

9月補正 予算額 2,158万円

- 11月5日に指名競争入札を実施し業者決定
合計契約額：1,388万円
- 小学校に58台、中学校に25台を配置
- 2月末までに全ての学校へ納品完了予定

GIGAスクール支援員の活用

一人一台端末を効果的に活用した
授業づくり等教員の指導力向上を図るため、
各学校にGIGAスクール支援員を派遣

9月補正 予算額 2,475万円

- 10月13日に指名競争入札を実施し業者決定
合計契約額：2,420万円
- 10名のGIGAスクール支援員が、原則2中学校区を
担当し、各学校のニーズに応じ支援
- 10月21日から業務を開始し、端末活用研修会や
端末を使用した授業等で教員をサポート

Wi-Fiルータの購入

臨時休業等緊急時の家庭学習環境確保の
ため、要保護・準要保護世帯向け貸与用
モバイルWi-Fiルータを購入

12月補正 予算額 1,530万円

- 年度内に1,530台を購入予定
- 通信に係る契約については、使用しない月は通信費が
不要となるプラン等を活用予定
- 令和3年度から「特化研究プロジェクト事業」を活用し、
一人一台端末の家庭における利用について研究予定